

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	国立大学法人施設整備（大型特別機械整備費等（最先端等））	担当部局庁	研究振興局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成16年度～未定	担当課室	学術機関課	学術機関課長 木村直樹			
会計区分	一般会計	政策・施策名	個性が輝く高等教育の振興 IV-1 大学などにおける教育研究の質の向上 IV-2 大学などにおける教育研究基盤の整備 基礎研究の充実及び研究の推進のための環境整備 IX-1 学術研究の振興				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	国立大学法人法(平成15年法律第112号)第35条において準用する独立行政法人通則法(平成11年法律第103号)第46条	関係する計画、通知等	第4期科学技術基本計画 (平成23年8月閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国立大学法人及び大学共同利用機関法人(90機関)が、施設と一体で整備する先端的・大型の研究設備の整備について、大学等全体を見通したうえで安定的・計画的な設備の整備を図り、我が国の学術研究の水準の向上を目指す。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国立大学法人等において、先端的・独創的な研究に必要な不可欠な研究設備のうち、既存の経費(国立大学法人運営費交付金等)や競争的資金では整備が不可能な大型で最先端の研究設備について、国立大学法人等が策定する設備整備のための中長期的計画(設備マスタープラン)を踏まえた上で、国立大学法人等に対し補助金を交付する。 補助率:定額						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	4,185	3,765	3,765	3,890	8,940
		補正予算	—	—	13,285	—	—
		繰越し等	10,713	1,296	△ 13,686	15,800	—
		計	14,898	5,061	3,365	19,690	8,940
		執行額	14,873	5,059	3,365	—	—
	執行率(%)	99.8	100.0	100.0	—	—	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果目標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	本事業は、我が国の学術研究の水準の向上を目的として国立大学法人等の大型設備を整備するものであり、成果について定量的な指標を示すことができない。		成果実績	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	補助事業数		活動実績 (当初見込み)	38事業	12事業	25事業	—
				()	()	()	
単位当たりコスト	135百万円(平成24年度)		算出根拠	単位当たりコスト=24年度執行額/事業数=3,365百万円/25事業			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	国立大学法人先端研究等施設整備費補助金	3,890百万円	8,940百万円	経済財政運営と改革の基本方針や日本再興戦略等を踏まえた大規模学術フロントティア促進事業の拡充等に伴う増 5,050百万円 日本再興戦略に関する「新しい日本のための優先課題推進枠」5,655百万円			
	計	3,890百万円	8,940百万円				

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	当事業については、既存の経費や競争的資金では整備が不可能な大型で最先端の研究設備について、国立大学法人等が策定する設備整備のための中長期的計画(設備マスタープラン)を踏まえた上で、大学等全体を見通して安定的・計画的な設備の整備を図る必要があることから、国が総合的に推進していく必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	単位当たりコストについては、各事業の規模、整備内容が異なるため経年比較できないが、公共工事コスト削減対策に基づき予算単価の縮減に努めている。また、各法人においては、一般競争入札を原則とし、その妥当性や競争性を確保しているところである。なお、計画変更や事業完了報告時において、費目・用途の内容を厳正に審査するなどその必要性について適切に確認を行っている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	当事業は、国立大学法人等が整備する研究設備について、国が、大学等全体を見通したうえで安定的・計画的な設備の整備を図り我が国の学術研究の水準の向上を目指しているものであることから、効果的な手段である。当該事業は、国立大学法人等が策定する設備整備のための中長期的計画(設備マスタープラン)を踏まえて、計画的な整備を推進しており、十分に活用されている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>本事業は、国立大学法人等が行う先端的・独創的研究活動に資するために必要な事業であり、国立大学法人等が策定する設備マスタープランを踏まえた上で、今後も重点的・計画的かつ適正な事業実施に努める必要がある。</p> <p>また、引き続き、交付先における契約の競争性、公平性、透明性を確保すべく、国立大学法人等への状況確認を努めていく必要がある。</p>					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	<p>1. 事業評価の観点:この事業は、国立大学法人等が策定する設備整備のための中長期的計画(設備マスタープラン)を踏まえた上で、国立大学法人等の先端的・独創的な研究に不可欠な研究設備のうち、既存の経費や競争的資金では整備が不可能な大型で最先端の研究設備の整備に対し補助金を交付するものであり、長期継続事業、独立行政法人等の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見:この事業は、平成16年以降長期に継続している事業であり、国立大学法人等が策定する中長期的計画(設備マスタープラン)に従って着実に実施しているものであり、整備規模の適正化やコスト削減に注意しつつ、効果的・効率的な整備の実施に努めることとし、現在の事業内容を引き続き維持すべきである。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	—					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0256	平成23年	0243	平成24年	0258

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

文部科学省
3,365百万円

対象となる国立大学法人等から提案のあった事業内容を審査の上、支援対象となる設備を選定し、補助金を交付する。



〔公募・補助〕

A. 国立大学法人施設整備事業
3,365百万円
国立大学法人等
全3法人

国立大学法人等における先端的・大型の研究設備の整備

A. 高エネルギー加速器研究機構
(支出額最大の機関)
2,450百万円

Bファクトリー加速器の高度化に係る整備の請負



B. 施設整備事業 2,450百万円
請負業者等
全192件

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.高エネルギー加速器研究機構			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設整備	Bファクトリー加速器の高度化	2,450			
計		2,450	計		0
B.SIGMAPHI			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
請負	Bファクトリー加速器設備の製造	142			
計		142	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	高エネルギー加速器研究機構	Bファクトリー加速器の高度化	2,450	—	—
2	東京大学	大型低温重力波望遠鏡	733	—	—
3	自然科学研究機構	アタカマ大型ミリ波サブミリ波干渉計	182	—	—

※補助事業

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	SIGMAPHI	HER用四極電磁石 一式	142	3	※
2	(株)アールデック	HER筑波直線部用ゲートバルブ 一式	80	1	※
3	古河電気工業(株)	高周波基準信号伝送用位相補償型光ファイバーケーブル 一式	79	1	※
4	三菱重工業(株)	加速空洞 一式	67	1	※
5	三菱重工業(株)	入力結合器 一式	41	1	※
6	パルつくば(株)	高エネ研KEKB高度化施設電子陽電子入射器棟増築工事	41	2	※
7	藤倉商事(株)	真空システム用ケーブル 一式	38	1	※
8	(株)デジテックス研究所	狭帯域ビーム位置検出回路 一式	36	1	※
9	ファラッド(株)	バンチフィードバック用デジタルフィルタ 一式	35	1	※
10	古河C&B(株)	導波管システム 一式	26	2	※

※ 同種の他の契約の予定価格を類推させるおそれがあるため非公表